

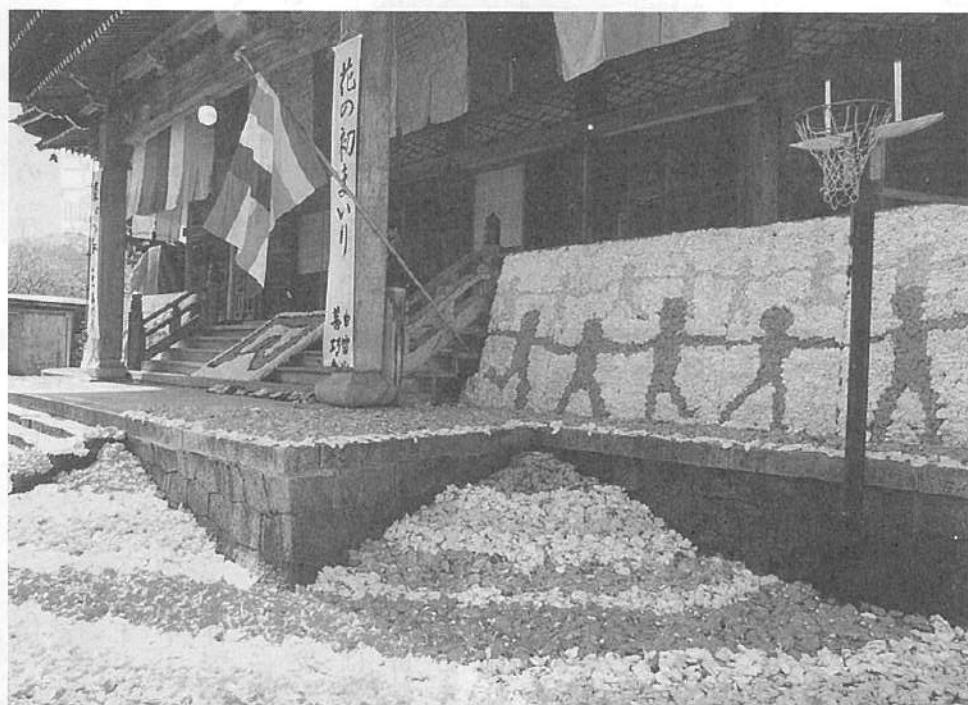
寺
ごよみ

四月

寺報 善巧

発行
938-0862 富山県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975

- | | |
|-----|------------|
| 二五日 | 花の誕生会 |
| 二四日 | 初参式 |
| 二一日 | 栗虫お講 |
| 二一日 | 十七夜聞法会 |
| 二四日 | チューリップ摘み |
| 二五日 | お寺の学校 |
| 二六日 | お式申込みはお電話で |
| 二六日 | 受式懇志三千円 |
| 二六日 | おしゃかさまから |
| 二六日 | 赤ちゃんまで |
| 二六日 | 皆の誕生を祝います |



見事なチューリップのお莊嚴

第23回

花の誕生会

四月二十五日午前十時

初参式、チューリップ、縁日

人間の欲や願いはかぎりありません。けれども、いのちにはかぎりがあり、知識がゆたかであっても、財力や権力がどんなにあっても、老病死や愛憎の苦悩を解決することはできません。欲望がみたされて一時的な快楽がえられたとしても長づきするものではなく、むしろ欲願があるために苦悩をうみるために苦悩をうみ争いを生じるものなのです。

このような現実の人生を、すなおな眼ざしでみつめることが大切であって、それには、現実の人生を高くこえはなれた立場から、人生を見なおしてみると

たとえば、宇宙飛行士がロケットで地球の外へでて、宇宙から地球をながめると、円い地球の裏表がみえ、ニューヨークとオーストラリアが同時にみることができます。つまり、この地上では決して経験することができない次元がひろがつてくるわけです。

私どもは、円い地球に住みながら円い地球を見ることができません。まして地球のうらおもてがみえるはずもありません。つまり、地球上の視点と宇宙からみる視点とは次元がちがうのです。私どもの常識をこえた次元が存在することをあらわしています。

生死出づべき道

仏陀の教えは、そのように人生をこえた立場から人生を見直していくところにあるといふべきでしょう。

後生の一大事、生死出づべき道とは、常識的な五十年百年の生命だけでなく、過去現在

未来の三世の生死の迷いから解きはなたれた永遠の淨土のさとりへいたる道を阿弥陀如来の本願力によつて救われていくことなのであります。

高田慈昭先生

空華忌講話

(2)

行信教校校長 利井明弘師



お領解文を味わつていきましよう。古くからいろんな和上方がおつしやつてますが、このお領解文は四つに分かれる。一つが「安心」ですが、このお領解文は四つに分かれる。一つが「安心」次が「報謝」その次が「師徳」そして最後が「法度」。この短い御文の中に四つのこと

が、お領解文を味わつていきました。「行状」。その「行状」を三つに「報謝」「師徳」「法度」と分ける。で、この「安心」は「自力を捨てて他方に帰する」という「捨自帰他」。これは順番におこるものではないです。光が来てそれから闇が晴れるのではなく、光が来たということは闇が晴れたということ、同時に

これは前の三つと後の一つは助業で、正定業は真ん中といふけれども、鮮妙は全然違う釈です。たとえ行照和上（鮮妙和上の師匠の人）などに背くことになつたり、文章に書いたりしたてもこれはこうしか言えないと、御本願に助正があるわけはどういうことかと言う

力のところをぶりすて、一心に阿弥陀如来、われらが今度の一大事の後生、御たすけ候へとたのみまうして候ふもろもろの雜行雜修自力のところをぶりすて、一心に阿弥陀如来、われらが今度の一大事の後生、御たすけ候へとたのみまうして候ふ

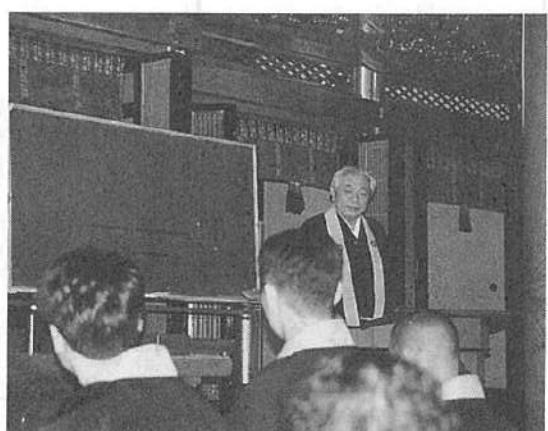
ここまでが「安心」。領解文を大きく二つに分けたら、「安心」と「行状」に分かれる。ここまでが「安心」なんです。あとは全部

が、あの五正行でも、「讀誦」「観察」「礼拝」「称名」「讚嘆供養」。「前三後二」これの前の三つと後の一つは助業で、正定業は真ん中といふけれども、鮮妙は全然違う釈です。たとえ行照和上（鮮妙和上の師匠の人）などに背くことになつたり、文章に書いたりしたてもこれはこうしか言えないと、御本願に助正があるわけはない、という世界です。

だから、助正を自力と考えておるんでしょう。称名と聞いて他力をたのむのじやない、同時にです。それで

行の他を全部雜行と言いますね。「雜修」というたら、五正行を混ぜてやること。ところが、あの五正行でも、「讀誦」「観察」「礼拝」「称名」「讚嘆供養」。「前三後二」

これが前の三つと後の一つは助業で、正定業は真ん中といふけれども、鮮妙は全然違う釈です。たとえ行照和上（鮮妙和上の師匠の人）などに背くことになつたり、文章に書いたりしたてもこれはこうしか言えないと、御本願に助正があるわけはない、という世界です。



みんな西方と言うけど、西方向いて生きておるでしょか？うちのじいさんの興隆は酒を一滴も飲まなかつた。そうすると弟子の山本仏骨先生も一滴も飲まなかつた。ところが戦争で帰ってきたとたんに飲めるようになつた。うちの父は昔から飲んでおつたから、戦後二人でよく飲んでは御法義の話やら、いろんな話をしました。河白道」です。「雜行」「雜修自力」。「雜行」つてなんでしょう。五正行の他を全部雜行と言いますね。「雜修」というたら、五正行を混ぜてやること。ところが、あの五正行でも、「讀誦」「観察」「礼拝」「称名」「讚嘆供養」。「前三後二」



「千五百円で極楽」と書いてあつた。一人がそのことを何遍もしゃべつては「千五百円で極楽かー、おもろては飲んでおる。この頃、僕は高校生ですから、あほなことがうれしいんやなと思つてました。ところが最近になつて、味わうようになつたんです。「千五百円で極楽」というのは東へ向いてるでしょ。西ではない。僕らの毎日の生活は東の岸へしがみついてるような生活しておるんですね。だけど、これも西方がわかったからです。西から光が照つてこないと影はわからない。自分が東にしがみついてる

ことがわからんのです。西方淨土といふのがわかる。といふことは、東を向いとるといふことが味わえたら、背中に阿弥陀様の光をうけとることになりますね。だけどね、わたしらと違つて聖道門の人たちは行をおこして西方に向かうんです「百千の理ならん」これも空華末學鮮妙が言うてることですが、「学者になろうと思つたらやつぱり勉強せなあかん。一生勉強せなあかん。朝から晩まで机にかじりついて勉強しなければならない。金持ちになるんかて一朝一夕にはなれんぞ。一生懸命

悟りに向かつて歩もうとしたら、「百千里」です。その後、「無人空廻」。これは、悟りに向かつて歩いて修行していくと、独りぼつちの自分に気が付く、孤独に気が付くというんです。だけどね、善導大師はこの世話を後でこう釈しておられる。「無人空廻の況」とは、独りぼつちとは書いてたけれどもまわりに人がいるのではない。要友に逢つて善友に逢わんのを独りぼつちに譬える」と。皆さん、かけがえのない一回きりの人生

だれにもいえない私の悩み
いまここに心の安まる世界それはみ仏さまの教えより深い人生は、ただみ教えを聞くところにひらかれます。

善巧寺仏教婦人会は、善巧寺門徒の全てのご婦人方に聞法のご縁を願うものです。皆さんお一人お一人がこの会を育て、次の世代へつなげてまいりましょう。

働かなければならん」。これ全部自力ですね。ところが、こうも書いてある。「学者になるのも金持ちになるのも時間がかかるけれども、あつたかい心をもつて生きるつていうのは今からでもなれる」。これはすごいね。まあ、なかなかそういう風になれませんけどね。西方淨土に向かつて、「衆生の六根・六識・六塵・五陰・四大に喰ふ」と書いたりますが、これは私たちの身と心です。だから修

友に会うのは、これは独りぼつちなんです。独りぼつちの者がおれば、「群賊悪獸」がおいかけてくる。しかし、この「群賊悪獸」というのが、また譬如に、「衆生の六根・六識・六塵・五陰・四大に喰ふ」と書いたりますが、これは私たちの身と心です。だから修

留まるも死す、帰るも死す」。それで「行くも死す、身を追いかけてくる。敵にてその独りぼつちの自分に気が付いた時に、我と我が

なつて自分を追いつめてゆく。それで「行くも死す、身を追いかけてくる。敵にてその独りぼつちの自分に気が付いた時に、我と我が

成人おめでとう

1/15

厳寒の一月十五日、親鸞聖人の御正忌報恩講が勤まる中、成人式からかけつけた振袖姿の六人が仏さまの前で御札を申しました。九年前の男先生のお葬儀に参列した当時の六年生達で、

涙ながらに弔辞を述べ、女先生を支えて雪ん子継続へと努力してくれた人たちです。あらゆるおかげによりここまで成長できたこと、本当にうれしい限りです。



雪ん子OG仏前結婚式

3/7

雪ん子五期生、浦山の森内由紀子さんが富山本願寺で挙式されました。阿弥陀様の前で結婚を誓われたお二人、どうぞお幸せに。



二十周年年!!

雪ん子劇団

雪ん子ジュニアは二十周年記念第一弾として三月二十七日春の公演を行い二十一期卒業生を送りました。夏には第二弾シニア新川文化ホール公演、第三弾ジュニアシニア合同セレネ公演を行います。どうぞご協力のほど。

三十周年記念行事
3月27日 春の卒業公演
8月20日 シニア新文公演
8月22日 合同セレネ公演
8月10~20日 雪ん子展
祝賀会 記念誌発刊

第一回カラオケ大会

3/7

門徒会館の有効な利用方法をと企画されたカラオケ大会も二回目を迎え、実行委員会は精いっぱいの準備をしました。地元浦山では他の行事と重なるという悪条件ではありましたが、田

中静代さんのさわやかな名司会のおかげで大いに盛り上り、二十六人の熱唱に拍手喝采がわき起きました。次回は来年二月第三日曜に予定されています。あなたも一曲ぜひどうぞ。



「はじめて会館に入ったちゃ」

最後はくじ引きで大にぎわい

「来年は衣装であるぞ」「自信ないんだけど」

門徒会館企画第2弾

お寺で作品展！ 作品募集！

「善巧寺展」

期 間 10月9日～10月24日
場 所 善巧寺門徒会館

募集作品 絵画・版画・ちぎり絵・書・写真・彫刻・陶芸 etc

企 画 作品展実行委員会

*趣味でなにか創るという方の発表の場として「善巧寺作品展」を10月に門徒会館で行います。始めたばかりという方でも大歓迎。皆さんの作品を募集します。

一六日	八 日	一 日	寺 ごよみ
一七日			
音沢お講（三）	花の会	東狐上野お講	
十七夜聞法会	第二十二回野休み	北陸ブロック仏教	

三〇日	二六日	二三日	寺 ごよみ
二二日	二二日	二二日	
善巧寺仏教婦人会	常見寺行信教校	専精舍夏講	
北陸ブロック仏教	婦人大会	於福井	

喜子前坊守	春の海	うす墨を 刷きし山なみ
		春浅し
		陽のまさに 沈まんとして

新総代さん紹介

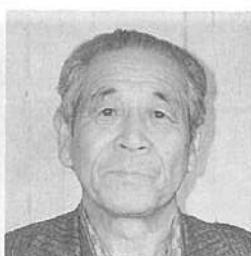
昨年四月以来、次の四人が
総代に選ばれました。
まだ総代さんの決つていな
い地域が二、三ヶ所あります。
が選出をお願いします。



藤沢 政次 さん
栃 沢



新保 啓一 さん
下 村



新保 隆夫 さん
下 村



本波 秀夫 さん
浦山7区

会員に一度の教化推進協議会が粉雪舞う三月二十二日開催されました。お勤めの後、法輪寺若院高島康彦さんの紹介がありました。

協議会ではまず四人の新総代の紹介。引続き議事に入りました。進行役は各会に所属している中山慶一さん。まず行事報告では野島重一さんが教区代表総代会、嶋田久之さんがカラオケ大会、菊地れいさんが白鶴会の報告を。会計では百三十万円減の緊縮財政が報告されました。次に沢田重一さんから二期工事の報告、寺務局からおおざっぱな特別会計の中間報告がありました。浦瀬俊雄さんからいはる。名簿作成の必要が要請され、ご門徒の皆さんにお願いすることになりました。

最後に鬼原総代が、「熱心な討論が嬉しい。年中行事の法座にもぜひこうして集まつてほしい」と挨拶して閉会しました。

教化推進協議会

3/22

平成10年善巧寺一般会計決算

平成11年善巧寺一般会計予算

平成11年 行事予定

- 1月 1日修正会、3日かるた会、栗虫報恩講、13~16日御正忌報恩講
- 2月 三日市・生地・荻生・下立・舟見・入善・泊・栃屋・熊野報恩講
- 3月 浦山報恩講、7日カラオケ大会、14日黒西組仏婦連盟総会、22日教化推進協議会、27日雪ん子劇団20周年記念第1弾春の公演
- 4月 13日太子会(温泉花見付)、25日花の誕生会、21日十七夜聞法会(毎月17)
- 5月 23日善巧寺仏教婦人会、22~26日行信教校専精舎安居
- 6月 8日野休み落語会
- 7月 16~19日祠堂会(高務師)
- 8月 13日青年盆会、15日こども盆踊り、16日盆会、20日雪ん子劇団20周年記念第2弾シニア新文公演、22日雪ん子セレネ公演
- 10月 9~22日善巧寺美術展、19~20日報恩講、門徒報恩講(富山・東福・青木・田家・窪野・経田・柳沢・新浜・上下飯野・高畠・板屋)
- 11月 4~5日空華忌、門徒報恩講(上野・出・魚津・中新・中陣・栃沢・浦山新・石田)
- 12月 門徒報恩講(中の口・赤田・愛本新・大橋・下村・下立・愛本・内山・赤田・音沢報恩講)、30日もちつき、31日除夜会

	(収 入)	(予 算)	(決 算)
1. 繰越金	195,113	195,113	
2. 布施収入	10,050,000	8,461,700	
門徒法要事費	8,400,000	7,061,000	
年中行事費	1,200,000	1,023,750	
賽銭	450,000	354,950	
雜収入	0	22,000	
3. 会費	4,950,000	4,959,000	
4. 雜収入	304,887	572,180	
合 計	15,500,000	14,187,993	
(支 出)	(予 算)	(決 算)	
1. 人件費	7,200,000	7,200,000	
運営費	5,050,000	4,983,481	
法事費	1,750,000	1,707,712	
寺車会接客費	900,000	893,564	
接待費	1,000,000	1,187,144	
宗廟費	900,000	754,345	
持闇費	200,000	189,330	
宗廟費	100,000	251,386	
接待費	0	0	
3. 維持費	2,420,000	2,004,252	
宗廟費	900,000	781,744	
持闇費	1,000,000	735,458	
4. 予備費	520,000	487,050	
合 計	15,450,000	14,187,733	
*差引	+ 260		
(収 入)	(予 算)	(決 算)	
1. 布施収入	9,200,000	8,000,000	
法要懇志(志納金・賽銭等)	8,000,000	1,200,000	
年中行事費	5,000,000	5,000,000	
2. 寺費(寺院維持費・板がえし)	300,000	0	
3. 雜収入	0		
4. 繰越金	0		
合 計	14,500,000		
(寺院支出)			
1. 寺院維持費(法人の活動に要する経費)	2,450,000		
宗派課金(賦課金・教区費・組費他)	550,000		
公租公課費(法人が負担すべき公租公課自動車税等)	400,000		
常備修理費	1,000,000		
保険料	500,000		
2. 寺院運営費(法人本来の活動を行う為の経費)	4,850,000		
教化・布教の為の通信・図書購入等)	900,000		
法要費(教化・葬式その他の法事に要する費用)	1,530,000		
会議(役員会に要する費用(供物・花・茶菓等))	150,000		
門徒接待費(法要以外の門徒接待費用(供物・花・茶菓等))	150,000		
事務費(事務用消耗品・備品)	1,000,000		
管理費(電気・ガス・水道・車両・電話料金等)	900,000		
子弟養成(専門教育費)	170,000		
交際費(寺院関係者の冠婚葬祭の祝い金香典等)	50,000		
3. 人件費(代表役員及び法人が雇用している職員の給与)	7,200,000		
4. 予備費	0		
合 計	14,500,000		

ひとみさんとの結婚の後
西武百貨店での勤務、中央仏
教学院での勉学と数年を過
ごされた康彦さんはいよい
よ浦山に根をおろされます。

「コミュニケーションを
とるにはまず、浦山弁をマ
スターしたいので沢山話し
かけて下さい。」

お経の声も大きく、明る
い性格の康彦さん。誰にで
も好かれるお坊さんになら
れることでしょう。

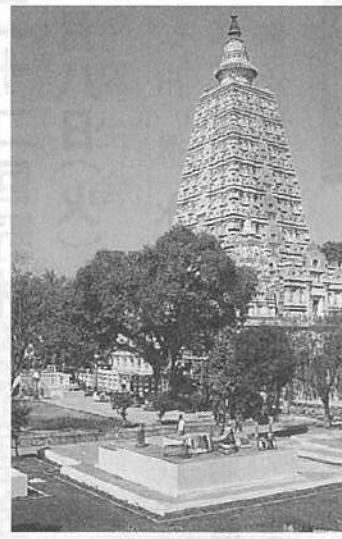


高島康彦さん四月から 法輪寺若院としてのスタート

ひとみさんとの結婚の後

長男のてつしん（哲心）です。
どうさんと妹のなみ（南美）
をよろしくおねがいします。

教隆聖地に立つ



行信教校教授天岸淨圓先生を
囲む会の方々と共に、教隆は、
二月十二日～二十一日、インド
参拝の旅に行つてきました。そ
のインド紀行はいずれ紙面で
釈尊おさとりの地ブッダガヤ



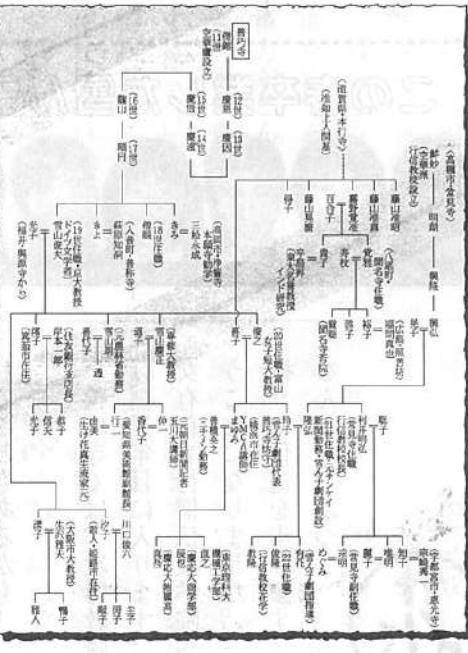
行信教校教授天岸淨圓先生を

越中百家

学者や文化人輩出雪山家

（宇奈月町）

「雪子劇団」が今月11月で創立20周年を迎える。真宗王国といわれる富山県にあって、「越中が生んだ真宗」を称賀され11世住職の僧侶や、日本人として初めて、日本の文化勲章に相当するドイツのファンボルト賞を受けた19世住職の龍山俊夫ら、学者や文化人に輩出した雪山家。真宗の布教活動に新たな風を送るものとして登場した「雪子劇団」にとつて、今年は記念すべき節目に年になります。



真宗布教に新風吹き込む



第二十三回

花の中の初まいり

四月二十五日午前十時

赤ちゃんが生まれたらまず
お寺で初まいりをしましよう。

人として生まれたご縁を感じ
謝し、いのちの尊さを心にき
ぎましよう。

お申込み 二十日まで
電話 (六五一〇〇五五)
懇志 三千円



第一二二回野休み落語会

六月八日(火) 午後七時半

出演 永 六輔・柳家小三治

入船亭扇橋・入船亭扇辰
富士松小照(新内)

ゲスト

昭和五十年よりリサイタル「富

士松小照の会」を意欲的に続け

五十八回にいたる。五十四年、
家元襲名披露を八代目松本幸四
郎丈の口上で。坂東玉三郎の新
内指導などをつとめる。



太子会

四月十三日

和國の教主聖徳太子のご

法要です。建設関係の方に
も参加していただいてお寺
ます。そのあと温泉、花見
弁当、近在のお花見。

梯實圓先生、利井明弘先生
の維持管理の相談をしてい
ます。

高田慈昭先生、騰瑞夢先生
天岸淨圓先生、山本攝先生
最終日の入舎式に有花も参
列します。お寺のワゴンで
の気楽な聞法の旅にどうぞ。

最終日は有花も入舎させて
頂きます。

正午 温泉、弁当、お花見
費用 三千円

善巧寺仏教婦人会集会

五月二十三日午後一時半

- おつとめ
- 仏事のイロハ
- 話し合い

- ビデオ映画上映 「蓮如上人」

制作 净土真宗本願寺派
ゴエーヴサ 松方弘樹

制作協力 松プロダクション

出 東映京都撮影所

演 津川雅彦・浅野ゆう子

水野真紀・森繁久彌
松方弘樹・南野陽子

他

どなたでもお誘い下さい。

この春卒業した雪ん子劇団20期生



第104回
五月二十二～二十六日
専精舎夏安居

高楓、行信教校の専精舎
夏安居が行われます。

講演は次の先生方。

梯實圓先生、利井明弘先生

法輪寺の若院康彦さんは
二月二十五日長女南美ちゃん
誕生で一児のパパになり、
このほど中央仏教学院を卒
業して浦山に戻られました。
又、法輪寺次女奈緒子さん
はこの四月十日、めでたく
ご結婚、新居は横浜とか。

◇ ◇ ◇ ◇

照行寺の長女一英さんは
ご主人の仕事の関係でイギ
リスに一年間の留学。神子
さんたちもイギリスへ行か
れることがあるかも。

◇ ◇ ◇ ◇

善巧寺では、次男教隆は
行信三年目に入ります。長
女有花も行信仏教学院へ通
うことになりました。三人
揃って仏道を歩みます。

なんまだぶつ

合掌

